

研究課題名	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院を含む244病院（2016年5月1日現在）が参加しています。
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 須崎紳一郎
研究期間	(西暦) 2017年8月～2021年3月
研究の意義・目的	外傷は子供や若年層の死因の第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。外傷の診療の質を評価し、向上させることは外傷による死亡率を低下させるために重要なことです。本研究では、外傷診療にかかわるデータを全国の医療施設（主に救命救急センター）から収集し、各医療施設の診療の質評価や、診療行為の効果を評価するための分析を行います。施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに、集積されたデータを分析することにより、診療行為の効果や診断の精度を評価し、外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待できます。
研究の方法 (対象期間含む)	本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、重症外傷（6段階の重症度スコアで3以上）を有する患者様です。個人を特定できる情報を除外した形で、受傷原因、受傷時の血圧、心拍数、呼吸数、病院での処置・治療内容、入院日数、死亡の有無などのデータを登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	データは匿名化（個人が特定できる情報を除外）した形で登録されていますので、個人が特定されることはありません。日本外傷データバンクのデータは、不正なアクセスや改ざん漏えいが起きないように厳重に管理されています。武蔵野赤十字病院で全国データを分析する際は、研究代表者が責任を持ってデータの管理を行います。データは研究目的以外に使用することはありません。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。お申し出により登録をしないことができます（データバンクへ登録後でも、お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済みの研究結果からの削除はできません）。お申し出により診療上の不利益をこうむることはございません。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 須崎紳一郎 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525